

表 3-2-a 学習・教育到達目標 A と関連の深い科目と履修モデル

共通基盤教育					
人文社会系		健康・スポーツ系		キャリア系	
必修・推奨科目		選択科目		選択科目	
現代社会講座(2)		日本国憲法(2)	健康・スポーツ科学実習 I (1)	インターンシップ準備演習(1)	
a 群	暮らしの経済(2)	日本近現代史(2)	健康・スポーツ科学実習 II (1)	業界研究(2)	
c群	経済学(2)	ヨーロッパの歴史と文化(2)	レクリエーションスポーツ(1)		
a 群		アジアの文化と社会(2)	生涯スポーツ実技(1)		
		少子高齢化と社会問題(2)	学外スポーツ(1)		
		マスメディア論(2)			
		宗教と倫理(2)			
		比較文化論(2)			
		芸術論(2)			
		社会参加とボランティア(2)			
		国際化と異文化理解(2)			
		現代社会の心理学(2)			
		人文社会科学演習(2)			
	b 群		哲学(2)		
			文学(2)		
		心理学(2)			
		倫理学(2)			
c 群		教育学(2)			
		政治学(2)			
		法学(2)			
		社会学(2)			
		企業と経営(2)			
6	6 <注1>	1			

表の最下段の数値は、目安となる単位数を表す。

表 3-2-b 学習・教育到達目標 B と関連の深い科目と履修モデル

共通基盤教育				
倫理系		人文社会系		キャリア系
必修科目		推奨科目		必修科目
技術者倫理(2)		情報社会と情報倫理(2)	a 群 環境論(2)	キャリア設計(1)
		生命倫理(2)		キャリア開発(2)
2		2 <注1>		3

表 3-2-c 学習・教育到達目標 C と関連の深い科目と履修モデル

共通基盤教育(数理情報系)		専門基礎導入			専門基礎							
必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目						
身の回りの数学(2)	実感する科学 I (2)	電気電子数学(3)	a 群 微分積分学 I-c(3) 微分積分学 I-d(3)	確率統計(2)	C 言語(2)	プログラミング入門(2)						
情報リテラシー(2)	実感する科学 II (2)	物理・化学ユニットプログラム(3)		関数論 I (2)								
			b 群 微分積分学 II-c(3) 微分積分学 II-d(3) 線形代数学 I-a(2) 線形代数学 I-b(2) 線形代数学 II-a(2) 線形代数学 II-b(2)	関数論 II (2)								
				振動と波動(2)								
				基礎化学 I-a(2)								
				基礎化学 II-a(2)								
				生物学概論 I (2)								
				生物学概論 II (2)								
				c 群 ベクトル解析(2) フーリエ解析(2)								
							d 群 基礎力学 I-b(2) 基礎力学 I-d(3)					
				4				2	6	9		2

各表の最下段の数値は、目安となる単位数を表す。

表 3-2-d 学習・教育到達目標 D と関連の深い科目と履修モデル

専門基礎			専門	
必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
基礎電気回路 I (3)	回路解析 I (3)	電気電子入門講座(2)	電気電子設計製図(2)	マイコン回路設計講座(2)
基礎電気回路 II (3)	回路解析 II (3)			基礎 LSI 設計講座(2)
基礎電子回路(3)	電気電子計測(2)			
電気磁気学 I-EB(3)				
電気磁気学 II-EB(3)				
15	8 <注 2>		2	

表 3-2-e 学習・教育到達目標 E と関連の深い科目と履修モデル

専門基礎		専門		
選択必修科目	選択科目	選択必修科目	選択科目	
アナログ電子回路(2)	電気電子ユニット入門(2)	a 群 電力・機器制御	電気機器学(2)	電気法規及び施設管理(2)
論理回路(2)			制御工学(2)	エネルギーと電力システム制御(2)
			環境・エネルギー(2)	電力システム工学(2)
		b 群 半導体・電子デバイス 光エレクトロニクス	半導体工学(2)	パワーエレクトロニクス(2)
			電子デバイス(2)	プラズマ工学(2)
			電気電子材料(2)	光エレクトロニクス(2)
		c 群 情報通信	電子通信工学(2)	モバイル・ユビキタス(2)
			電磁波とその応用(2)	デジタル通信とネットワーク(2)
			コンピュータ工学(2)	
4 <注 2>			6 <注 3>	16 <注 3>

各表の最下段の数値は、目安となる単位数を表す。**表 3-2-f** 学習・教育到達目標 F 及び G と関連の深い科目と履修モデル

共通基盤教育					専門基礎	専門
必修科目	選択必修科目	選択科目	選択科目	選択科目(キャリア系)	必修科目	必修科目
スタディスキル(1)	科学技術英語 I (1)	英語 II (1)	文章表現技術(2)	インターンシップ(2)	電気電子基礎ユニット(3)	電気電子専門ユニット(4)
キャリア開発(2)	科学技術英語 II (1)	英語 III (1)	プレゼンテーション技術(2)		電気電子応用ユニット(4)	電気電子設計及び
	英会話 I (1)	英語 IV (1)	技術文章の書き方(2)			特別研究ユニット(3)
	英会話 II (1)	英語 V (1)				電気電子工学ゼミ(2)
	英会話 III (1)	英語 VI (1)				卒業研究(6)
	英会話 IV (1)					
	TOEIC I (1)					
	TOEIC II (1)					
3	3	4	2		7	15

表の最下段の数値は、目安となる単位数を表す。

<注1> 共通基盤教育 人文社会系科目の選択必修科目は、表 3-2-a,b に分かれて書かれている。

<注2> 専門基礎の選択必修科目は、表 3-2-c,d,e に分かれて書かれている。

<注3> 表 3-2-e にある専門の選択必修科目は、モデルに従い(a),(b),(c)の各群から各自の専門に合わせて1つを履修す。その後、他の群の選択必修科目と選択科目を含めて、要件に合うように履修する。

科目履修計画を立てる際に注意すべき事項

1. A から G までの学習・教育到達目標
2. 自分の興味や関心または将来の進路
3. 卒業要件、卒業研究履修の資格の単位数
4. 履修科目の優先順位(必修(推奨)、選択必修、選択という順で)
5. 年間取得できる単位数(48 単位まで、GPA 値により特典がある)